

第 16 回地域防災情報シンポジウム

～東日本大震災から 15 年、防災 DX に向けた今後の ICT 活用を考える～

日本では、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの大規模地震だけでなく、火山噴火、台風、豪雨災害など、多くの自然災害が発生しています。今年は東日本大震災から 15 年、平成 28 年（2016 年）熊本地震から 10 年の節目を迎える年でしたが、新たに 2026 年熊本地震が発生し、改めて災害への備えや対応の重要性が認識されることとなりました。

そこで、これまでの災害時における ICT 活用に関する研究や活動を振り返るとともに、東日本大震災以降の取り組みや研究成果に加え、2016 年熊本地震と 2026 年熊本地震の被害状況や通信環境の比較から得られる知見についても共有します。そして、これらの経験や教訓を踏まえ、今後の防災 DX に向けた ICT 活用のあり方について考えます。

このシンポジウムでは、東日本大震災後に行われてきた取り組みや研究、ならびに熊本地震に関する調査・分析などについて講演を行います。続いて、講演者をパネリストとしてパネル討論を実施します。パネル討論では、パネリストと参加者の皆様との活発な議論を通して、災害対応の高度化や地域のレジリエンス向上に向けた ICT 活用の可能性と課題を整理し、今後の防災 DX の方向性を探っていきます。

1. 日時： 2026 年 9 月 1 日（火） 13:30～17:00

（対面受付開始 13:00, オンライン Zoom 入場開始 13:20）

2. 場所： 静岡県立大学草薙キャンパス 経営情報学部棟 1 階 4111 教室

（静岡市駿河区谷田 5 2-1）

対面とオンラインのハイブリッド形式で開催（オンラインは Zoom を使用）

3. 参加費用： 無料

4. 申込方法： 以下の URL からお申し込み下さい。

https://req.gubo.jp/u_shizuoka/form/chiikibousai2026



5. プログラム：

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～15:20 講演

基調講演（13:35-14:30）

演題：「東日本大震災の経験とその後の震災対策の取り組み」

講師：前岩手県宮古市危機管理監危機管理課長 山崎 正幸 氏

特別講演 1 (14:30-14:55)

演題：「2016 年熊本地震の現地体験と調査活動を踏まえた 2016 年・2026 年熊本地震の比較
— 被害状況と災害時通信環境の観点から —」

静岡県立大学 ICT イノベーション研究センター長 湯瀬 裕昭 氏

特別講演 2 (14:55-15:20)

演題：「Wi-Fi HaLow と準天頂衛星「みちびき」で強化する学校防災通信インフラ（仮題）」

講師：株式会社サーベイ 代表取締役 阿部 正美 氏

15:20～15:30 休憩

15:30～16:55 パネル討論

テーマ：「これからの防災 DX のための ICT 活用を考える」

コーディネーター：国立研究開発法人情報通信研究機構 吉田 一志 氏

パネリスト：前岩手県宮古市危機管理監危機管理課長 山崎 正幸 氏

静岡県立大学 ICT イノベーション研究センター長 湯瀬 裕昭 氏

株式会社サーベイ 代表取締役 阿部 正美 氏

岩手県立大学 名誉教授 柴田 義孝 氏

高知工科大学 情報学群 教授 福本 昌弘 氏

16:55～17:00 閉会挨拶

6. 主催等

主催：静岡県立大学 ICT イノベーション研究センター

協力：国立研究開発法人情報通信研究機構，静岡県立大学地域経営研究センター

特別協力：株式会社クエスト